

四日市版コミュニティスクール報告書（令和3年度総括）

四日市市立常磐小学校

校長 中村 隆志

1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

今年度が3年目の「常磐小学校運営協議会」の活動となりました。この運営協議会は、常磐小学校の教育活動等に対して、地域全体で子どもを育てる体制をつくり、子どもたちの学習活動・環境の充実を図るとともに、家庭・地域の教育力を高め、さらには、地域のコミュニティの活性化を図ることをねらいとしています。

保護者や地域の声を反映した教育活動を進めるとともに、学校とともに子どもを育てる中心的な役割を果します。

2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について

(1) 教育活動の実践事例（保護者・地域へ開かれた学校づくりの工夫と推進）

【学習活動への支援】

○サツマイモを育てよう（2年）

運営協議会の方に畑の確保や準備をお世話いただいたり、サツマイモづくりの名人に指導してもらったりして活動を進めました。苗植え・除草・収穫とすべての活動にたくさんの地域の方に協力いただきました。コロナ禍での活動ということで、感染対策も十分すぎるほど考えていただき、安心して活動を行うことができました。



○ブックトーク（3年）

子どもの絵本専門店の方を招き、ブックトークとブックバイキング

（選書）活動を実施しました。実際に絵本を手に取り、読た。書への関心が高まりました。



○歌唱指導（6年）

外部講師として、常磐小学校出身のソプラノ歌手馬場浩子先生を招き、歌唱指導を受けました。音楽会が中止となり、歌声を響かせる機会のなかった子どもたちにとってとてもよい機会となりました。



○防災活動（5年）

常磐地区防災協議会の方に来ていただき、地域の防災体制や防災倉庫の中の備品とその使い方について説明を受けました。また、簡易の担架やスリッパづくりの体験もしました。



【ボランティア活動】

○図書ボランティアの活動

子どもたちの読書の意欲が高まるようにと、図書室での読み聞かせや朗読劇等を計画していましたが、コロナ禍の影響で計画通りの活動ができませんでした。しかし、子どもたちのためにと、手作りのしおりを作っていたり録音した読み聞かせを給食時に流していただいたりしました。

○交通安全見守り活動「P T A・社会福祉協議会、子ども見守り隊」

子どもたちは朝の登校指導や下校パトロール等、保護者・地域の方々の協力のもと安全に登下校ができています。地域においては「子ども見守り隊」が発足するなど、登下校だけでなく安心安全な環境づくりに努めていただいています。

(2) コミュニティスクール（運営協議会）の取組による効果

コミュニティスクールの活動以前から、学習活動や体験活動への支援などの取組は行われてきました。これらの活動がより充実し継続したものになるように、前年度から引き続き運営協議会の場を通じて、活動内容を検討してきました。それにより、「さつまいもづくり」「伝承文化交流会」での地域サポーターの協力、「ブックトーク」での地域人材の活用など、様々な取り組みが地域の方々にも定着してきました。もちろん、子どもにとってはとても楽しい活動となっており、意欲的に活動できる機会となっています。

3 今後に向けて

常磐小学校では、これまでも保護者や地域の方とのつながりは深く、さまざまな活動にご支援・ご協力をいただけてきました。運営協議会では、校内視察や日常の学校や地域での子どもたちの様子をとらえて、学校教育活動に対するさまざまなご意見やご助言をいただいています。今後も引き続き、保護者や地域の方々の思いを教育活動に反映させ、子どもたちがより充実した学校生活を送れるように取組を進め、より豊かな人間性を育てていきたいと思っております。

コミュニティスクール3年目ということで、少しずつではありますが、保護者や地域の方々に浸透してきていると感じています。今後も、学校だよりやホームページ、リーフレットの配付等で呼びかけ、「地域とともにある学校」に向けて取組を発展させていきます。